

議題 1

令和3年度ふれあいバスの運行実績について 配布資料要点

【資料1】津島市ふれあいバス 利用状況と運行負担経費について

■年間利用者数の推移■

R3年度の年間利用者数は46,338人で、R2年度より541人減少した。1便当たりの乗車人数は8.8人で、R2年度より0.1人増加した。R2.10よりAコースが1便減ったことを受け、利用者数は減少したが1便当たりの乗車人数は増加した。

■運行に係る市の負担額の推移■

運行経費から運賃収入や広告収入を差し引いた市の負担額については、R3年度は約34,133千円で、R2年度より約2,846千円増額となった。また、乗客1人を運ぶための市の負担を表す「乗客1人当たりの市の負担額」についても、R3年度は737円でR2年度より70円増額となった。利用者数が大きく変わらない中、運行経費が増額したため、市の負担総額・乗客1人当たりの市の負担額ともに過去最高額となった。

【資料2】令和3年度 津島市ふれあいバス乗車記録表

■記録表■

免許返納促進の一環としてH30.6より返納者に対し配布している無料乗車券について、R3年度の利用枚数は357枚で、R2年度より31枚減少した。また、年間の運賃収入について、R3年度は約4,220千円で、R2年度より約16千円減収となった。全体の利用者数はR2年度からR3年度にかけて減少したが、子どもの利用者数についてR2年度より97人増加の774人となった。

(※R4年度より、選挙の期日前投票のためにバスを利用された方に対しても、無料乗車券の配布を開始。)

■参考比較用■

コース別利用者数を見ると、A・C・Dの3コースはR2年度より減少し、BコースはR2.10の永和駅への停留所の延伸の影響により増加した。(詳細は資料6)

■接続便利用者数■

R2.10から開始した、大縄住宅および西地域防災コミュニティセンター停留所からAコース津島神社南停留所までの接続便の利用実績は0であった。

【資料3】令和3年度 津島市ふれあいバス停留所別乗降者数

■全コース共通■

コース全体を通して、津島市民病院・ヨシヅヤ本店・津島駅の3停留所の乗降者数が例年と同様に多く、3停留所でR3年度における全体の乗降者数の約55.6%を占めた。

■B・C・Dコース共通■

往路のヨシヅヤ本店停留所については乗車する利用者の数が多く、復路のヨシヅヤ本店停留所については降車する利用者の数が多い。従って、ヨシヅヤ本店の利用客が往復ともに同じコースを利用していることが想定される。

■各コース■

Aコースは、乗り継ぎのため津島駅停留所で降車する利用者が多く、ヨシヅヤ北テラス店の最寄りのろうきん津島・津島市総合保健福祉センター・津島市立図書館停留所等、各施設から近い停留所は一定の利用者がいる。

Bコースについては、永和駅停留所の延伸に伴い、永和駅停留所の乗降者数は飛躍的に増加（詳細は資料6）。また、永和駅近辺の停留所の乗降者数は多い傾向にある。

Cコースについては、R2年度に引き続き、名鉄津島線青塚駅近辺の停留所の乗降者数が多い傾向にある。

Dコースについては、市の中心から比較的遠方の金柳町停留所での乗降者数と、神守支所北停留所において乗車する利用者が多かった。

【資料4】令和3年度 新型コロナウイルス感染者数と津島市ふれあいバスの

利用者数の相関について

■愛知県内の新型コロナウイルス感染者数推移■

県内のコロナ感染者数は5月、8～9月、翌1月以降の大きく3つのピークがあった。R3年度においては、R3.4.20～6.21及びR3.8.27～10.1の間において、緊急事態宣言が発令されていた。

(※津島市内においては、県内の感染者数のピークから2週間程度遅れてピークが到来する傾向にある。)

■コロナ感染者数と利用者数の相関■

四半期ごとに相関を調べたが、いずれも強い相関は見られなかった。

【資料5】津島市ふれあいバス 利用者数の年度間比較

■全体■

R2年度とR3年度について、月別利用者数の推移は類似していた。6月～9月や2月～3月等を比較すると、R1年度とR2・R3年度では異なる推移をしている。

■R3年度とR2年度の利用者数比較■

R2年度と比較して、4月・5月・11月・12月・1月・3月の6ヶ月についてR3年度の利用者数は増加した。特に4月においては飛躍的に利用者数が増加しているが、R2.4に最初の緊急事態宣言が発令されており、外出自粛ムードが最も強かったことが大きく影響している。

■R3年度とR1年度の利用者数比較■

3月を除くすべての月について、R3年度の利用者数はR1年度と比較して減少している。R1年度の3月に関しては、最初の緊急事態宣言が発令される前月であり、外出自粛ムードが強まったことが影響して利用者数が大きく減少したことを考慮する必要がある。

【資料6】永和駅停留所延伸による利用者数の変化【永和駅北口（～R2.9）／

永和駅（R2.10～）】

■年間利用者数推移■

R3年度の永和駅停留所の年間利用者数は1,574人で、R2年度と比較して893人増加した。R2年度におけるR2.10～R3.3の半年間については、永和駅延伸後の利用者数である点に留意する必要がある。

■ 延伸前後 1 年間の利用者数変化 ■

延伸後の 1 年間の利用者数は 1,242 人で、延伸前の 1 年間と比較して 964 人増加し、約 4.5 倍となった。利用者数の増加の内訳について、永和駅停留所からの乗車人数は 404 人増加し、永和駅停留所での降車人数は 560 人増加した。前年比で比較すると乗車人数は約 7.4 倍、降車人数は約 3.6 倍となり、特に乗車人数が飛躍的に伸びた。